

令和3年度 第4回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和4年3月24日（木） 13時30分～14時50分

【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

【出席委員】

井上委員（会長）、鬼塚委員、川畑（義）委員、田尻委員、末永委員、
根建委員、三原委員、宮竹委員、柳井田委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 報告事項
 - ① 第四次一般廃棄物処理基本計画策定について
 - ② 家庭ごみマイナス100gの取組状況について
 - ③ 令和4年度資源循環部事業概要について
 - (2) その他
- 5 閉会

【議事概要】

委 員：ホームフードリサイクルグリーン事業は、ダンボールコンポストや電気式生ごみ処理機の利用者が多くなってきているが、令和3年度の状況はいかがか。

事務局：生ごみ処理機器の実績については、補助件数で、元年度が182件、2年度は334件、3年度は12月末時点で300件と、年々増加している。これは、機種の増加もあると思うが、2年度から市内の販売店への補助制度のチラシ配布と、購入者への補助金申請書の配布により利便性を図ってきたことによる効果だと考えている。

委 員：拡充のリサイクルプラザ整備事業で、増設する規模はどのくらいで、増設後はどのようなになるのか。

事務局：リサイクルプラザについては、ペットボトルが増えていることにより1,700m³ある貯留ピットが溢れ、収集車から下ろす場所に積まざるを得ない状況である。そのため、一時的に搬入時に渋滞等の支障が出ていることから、これを解消するために、2,000m³のストックヤードを整備するものである。

委員：脱プラスチック生活チャレンジ事業は関係団体と連携するとしているが、関係団体とはどのような団体か。

事務局：関係団体は、環境みらい館やかごしま水族館を想定している。3年度は環境みらい館と連携して実施した。

委員：カラス対策事業については、天文館地区を対象としているが、実際にどのような状況なのか。

事務局：2年度はカラス対策袋の購入とリーフレットを作成した。3年度はゼロ予算で天文館地区カラス対策協議会と対策の進め方について3回協議した。4年度は、農業関係で効果があったとのレポートのあるカラス撃退プレートの効果検証とリーフレットの作成の予算を計上している。

委員：ごみ収集車の買い替えは、ゼロカーボンに配慮したものになっているのか。

事務局：本市公用車等を環境対応車に切り替えることを定めた環境対応車導入指針に基づいて平成24年度からクリーンディーゼル車に順次買い替えており、3年度の買い替えでごみ収集車は全てクリーンディーゼル車になる予定である。

委員：家庭ごみマイナス100gの取組の実績と見込みの推移について、これまで金属類と剪定枝の分別収集スタートでは、どのくらいの減量が推定がしやすいと思うが、今回は啓発に力を入れている。もちろん大事な取組であるが、どのくらい減るのが読みづらいと思う。あと1年でどのくらい下がると考えているのか。

事務局：100gの取組について、燃やせるごみには、組成調査によると生ごみが約40%、資源物の古紙類が約10%含まれていることから、目標達成のために生ごみの減量化と古紙の資源物としての分別の徹底が課題であるとして、4年度は最終年度なので、470gの達成を目指し、ガイドブックの作成とテレビCMでの周知広報による意識啓発を図っていきたい。

委員：食用廃油については、市内ではどのくらいの団体が取り組んでいるのか。

事務局：資源物回収活動で食用廃油に取り組んでいる団体は把握していないが、3年度に資源物回収活動に取り組んだ団体は408団体であり、その中で食用廃油は11トン集まった。

委員：廃棄物監視指導員設置事業では、不法投棄及び不適正処理等の未然防止のため、監視パトロールを実施するとなっているが、今後も続けていくのか。

事務局：廃棄物監視指導員は、警察OBを含め、現在、6人体制である。監視パトロールは年末年始の12月29日から1月3日を除き、土日祝日を含め、毎日実施している。不法投棄が発見された場合は、所有者が分かれば撤去させるが、電化製品などは中々所有者の特定に至らないため、シールを一定期間貼っている。民地の場合は、地主に看板設置などをお願いするが、そこまで至らないのが現状である。指導員で撤去できるものは周知期間後、撤去するが、斜面や大型の不法投棄の場合は、県の資源循環協会の協力を得て、重機などで取り除いている。